

No.68

津地区の景況調査

平成28年上期実績と平成28年下期見通し
(平成28年7月調査)

津地区企業における伊勢志摩サミット開催に対する自社の業況への影響 (付帯調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	利益状況	8
4	販売条件と仕入条件	9
5	設備投資	11
6	資金繰りの動向	11
7	借入の動向	13
8	借入予定と借入希望先	13
9	経営上の問題点	15
10	津地区企業における伊勢志摩サミット開催に対する自社の業況への影響（付帯調査）	17
	調査票	18

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,144企業を対象に実施。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成28年6月29日～7月8日
5. 調査対象期間 平成28年1～6月実績と平成28年7～12月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 336 (回収集計率 15.7%)
うち小規模企業 193
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

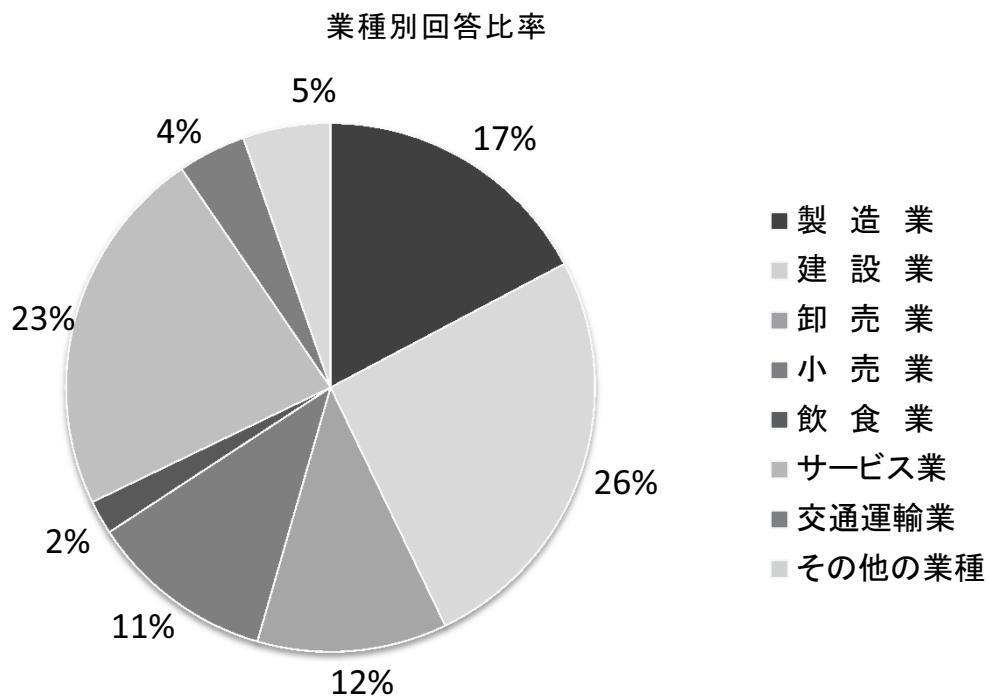
B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	131 39.0	106 31.5	53 15.8	18 5.4	28 8.3	0 0.0	336
製造業	14 24.1	17 29.3	11 19.0	7 12.1	9 15.5	0 0.0	58
建設業	37 43.0	34 39.5	13 15.1	0 0.0	2 2.3	0 0.0	86
卸売業	14 35.9	14 35.9	8 20.5	1 2.6	2 5.1	0 0.0	39
小売業	17 44.7	10 26.3	2 5.3	3 7.9	6 15.8	0 0.0	38
飲食業	5 71.4	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	7
サービス業	36 47.4	20 26.3	13 17.1	1 1.3	6 7.9	0 0.0	76
交通運輸業	2 14.3	3 21.4	4 28.6	4 28.6	1 7.1	0 0.0	14
その他の業種	6 33.3	8 44.4	1 5.6	1 5.6	2 11.1	0 0.0	18

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
27年1月～6月 実績	△ 26.5	△ 27.2	△ 27.7	△ 20.2	△ 27.1	△ 14.1
27年7月～12月 実績	△ 13.6	△ 16.5	△ 15.6	△ 18.0	△ 14.1	△ 8.7
28年1月～6月 実績	△ 18.1	△ 14.8	△ 13.7	△ 17.3	△ 14.0	△ 2.4
28年7月～12月 見通し	△ 24.7	△ 23.2				△ 10.5

産 業 別 D I (28年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 15.5	△ 17.3	△ 12.1	△ 20.7	△ 15.5	△ 1.8
建 設 業	△ 22.1	△ 23.2	△ 19.7	△ 18.6	△ 19.8	△ 2.4
卸 売 業	△ 30.7	△ 17.9	△ 28.2	△ 23.1	△ 15.3	△ 7.7
小 売 業	△ 13.1	△ 5.3	2.6	△ 2.6	2.7	15.9
飲 食 業	△ 14.3	14.3	△ 28.6	0.0	△ 28.6	△ 14.3
サービス業	△ 9.2	△ 5.2	△ 5.3	△ 21.1	△ 15.8	△ 7.9

Ⅱ. 調査結果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現状

全産業の業況判断DI値は△18.1となり前期△13.6と比べ、4.5ポイントの悪化となった。前回調査時では12.9ポイントの改善であったが、今回調査では改善にブレーキがかかる結果となった。小規模企業は△23.8となっており、前期△14.7と比べ9.1ポイントの悪化となった。全体の業種別では卸売業・サービス業で改善、製造業・建設業・小売業・飲食業で悪化の結果となった。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DI値は△24.7と、今期の現状DI値△18.1よりも悪化する見通しを示している。小規模企業でも△25.9の見通しで、今期の現状DI値△23.8より若干の悪化の見通しを示している。卸売業、小規模企業のサービス業では改善の見通しとなっている。

















表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月	28年7月～12月
全 産 業	△ 26.5 △ 33.2	△ 13.6 △ 14.7	△ 18.1 △ 23.8	△ 24.7 △ 25.9
製 造 業	△ 22.7 △ 32.4	△ 10.8 △ 8.9	△ 15.5 △ 29.0	△ 26.0 △ 32.3
建 設 業	△ 29.3 △ 37.5	△ 11.3 △ 9.2	△ 22.1 △ 19.8	△ 32.5 △ 32.5
卸 売 業	△ 53.3 △ 55.5	△ 35.5 △ 54.6	△ 30.7 △ 57.2	△ 10.3 △ 14.3
小 売 業	△ 18.3 △ 25.0	△ 10.2 △ 30.0	△ 13.1 △ 29.4	△ 18.4 △ 35.3
飲 食 業	△ 75.0 △ 66.7	0.0 14.3	△ 14.3 0.0	△ 28.6 0.0
サービス業	△ 20.6 △ 29.7	△ 20.9 △ 10.7	△ 9.2 △ 22.2	△ 26.3 △ 13.9

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月	28年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				

小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示
 快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



景気判断 DI

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図-1 津地区の経営の現状と見通し

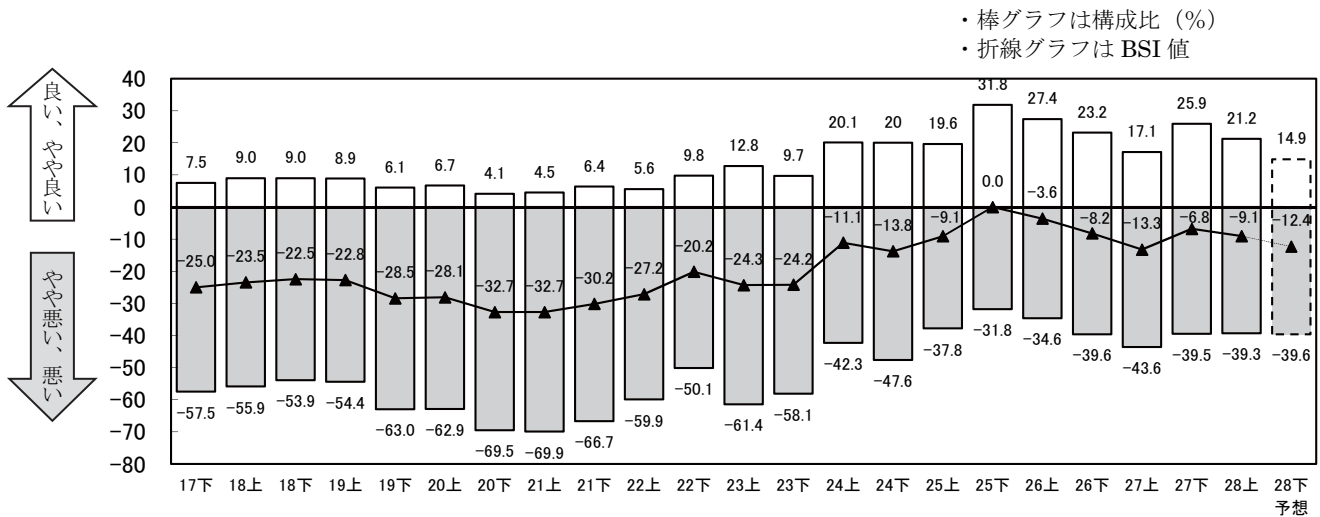
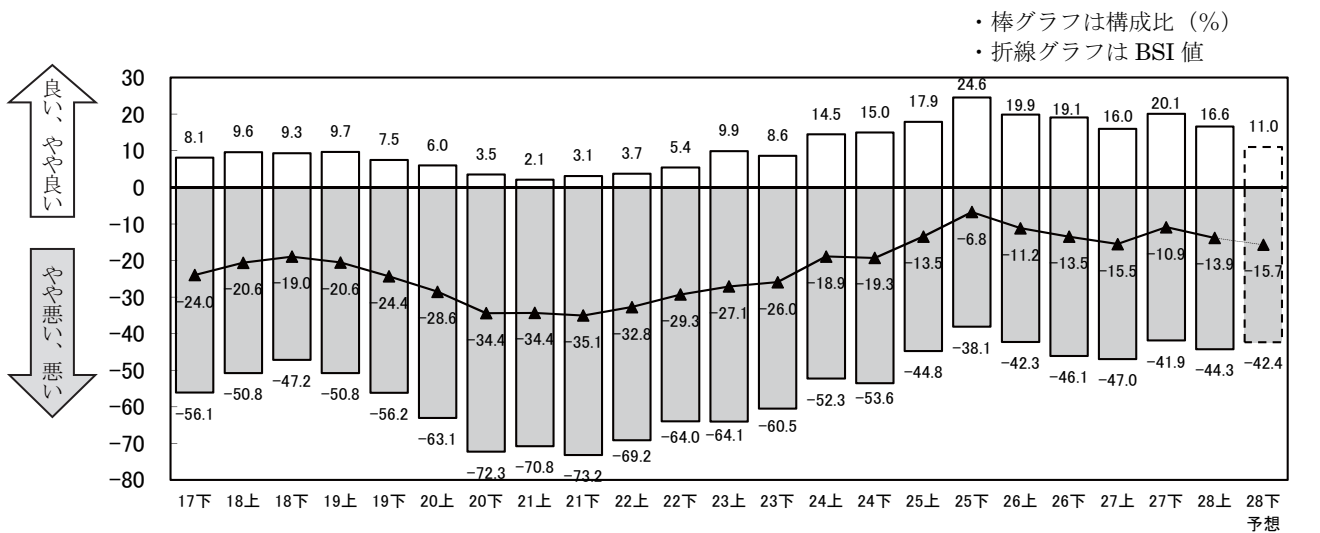


図-2 三重県下の経営現状と見通し



2. 売上状況と来期の見通し（表－2、図－3・4参照）

(1) 今期の動向

全産業の売上D I 値は今期△14.8、前期△16.5 と比べ1.7ポイントの改善となった。一方で小規模企業の全産業の売上D I 値は今期△25.4、前期△22.0 と比べ3.4ポイントの悪化となった。業種別で見ると製造業・建設業で悪化となったが、小規模企業のサービス業で横ばい、その他の業種は数値を改善させている。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断D I 値は△23.2、今期の現状実績値△14.8と8.4ポイント悪化する見通しとなっている。業種別では、ほとんどの業種で悪化の見通しとなっている。小規模企業では卸売業とサービス業で改善の見通しを示しており、他の業種と違う動きを示している。

表－2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			今後の見通し
	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月	28年7月～12月
全 産 業	△ 27.2	△ 16.5	△ 14.8	△ 23.2
	△ 32.1	△ 22.0	△ 25.4	△ 26.9
製 造 業	△ 18.2	△ 5.4	△ 17.3	△ 24.2
	△ 18.9	△ 8.8	△ 29.1	△ 32.3
建 設 業	△ 25.4	△ 13.8	△ 23.2	△ 34.9
	△ 32.9	△ 17.0	△ 25.4	△ 35.2
卸 売 業	△ 56.6	△ 35.6	△ 17.9	△ 20.6
	△ 66.6	△ 63.6	△ 57.2	△ 21.4
小 売 業	△ 39.4	△ 23.1	△ 5.3	△ 21.1
	△ 45.0	△ 40.0	△ 17.7	△ 29.4
飲 食 業	△ 75.0	△ 25.0	14.3	0.0
	△ 66.6	△ 14.3	20.0	0.0
サービス業	△ 17.8	△ 23.9	△ 5.2	△ 17.1
	△ 21.6	△ 24.9	△ 25.0	△ 16.6

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月	28年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				

小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

D I = 好転 (良い、やや良い) の割合 - 悪化 (やや悪い、悪い) の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示
 快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



※下段D I 値は小規模企業

景 気 判 断 D I

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図-3 津地区の売上の現状と見通し

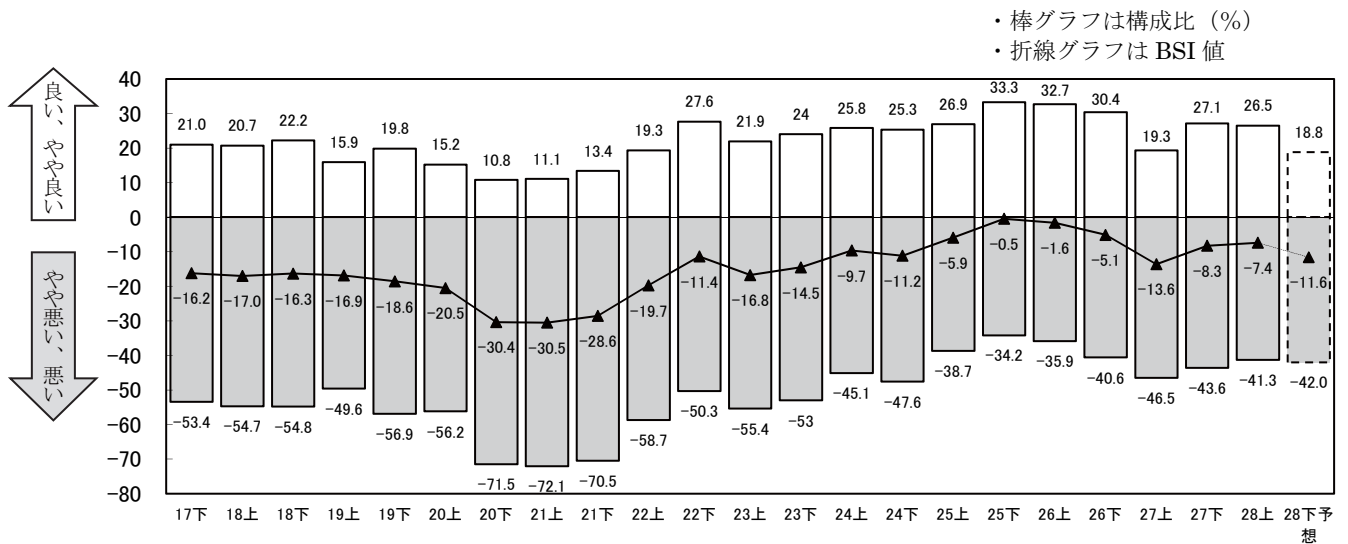
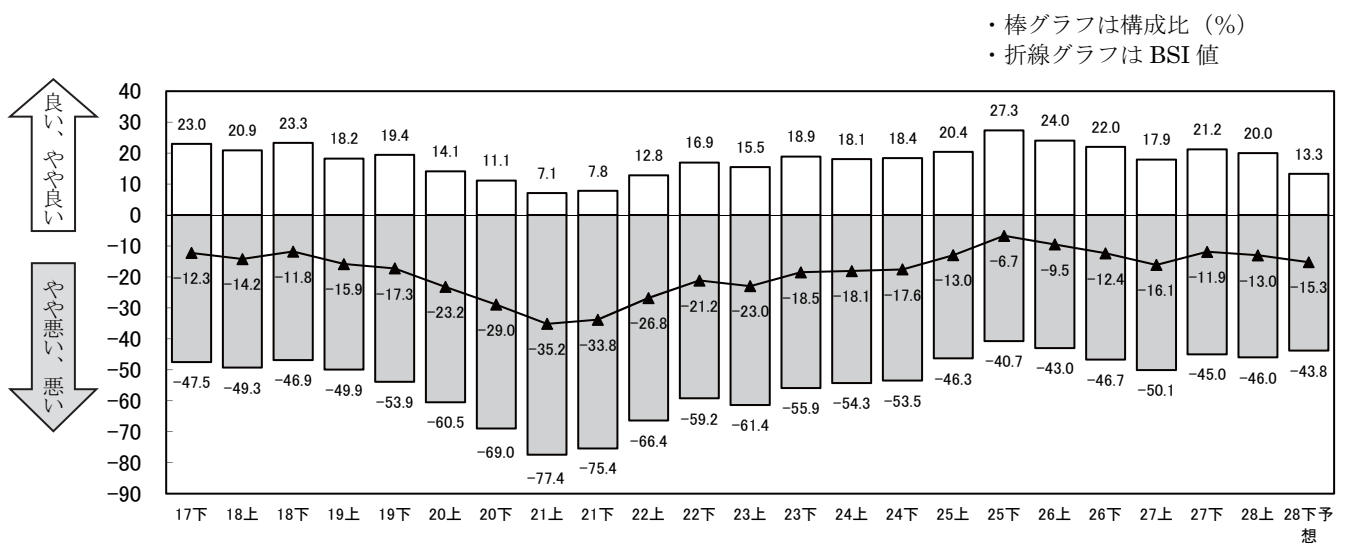


図-4 三重県下の売上の現状と見通し



3. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断DI値は△13.7と前期△15.6に比べ1.9ポイント改善した。業種別で見ると製造業・建設業がほぼ横ばい、卸売業・小売業・サービス業が改善の結果となった。小規模企業では製造業で△22.5と前期△8.8に比べ13.7ポイント悪化する結果となった。

表－3 利益状況

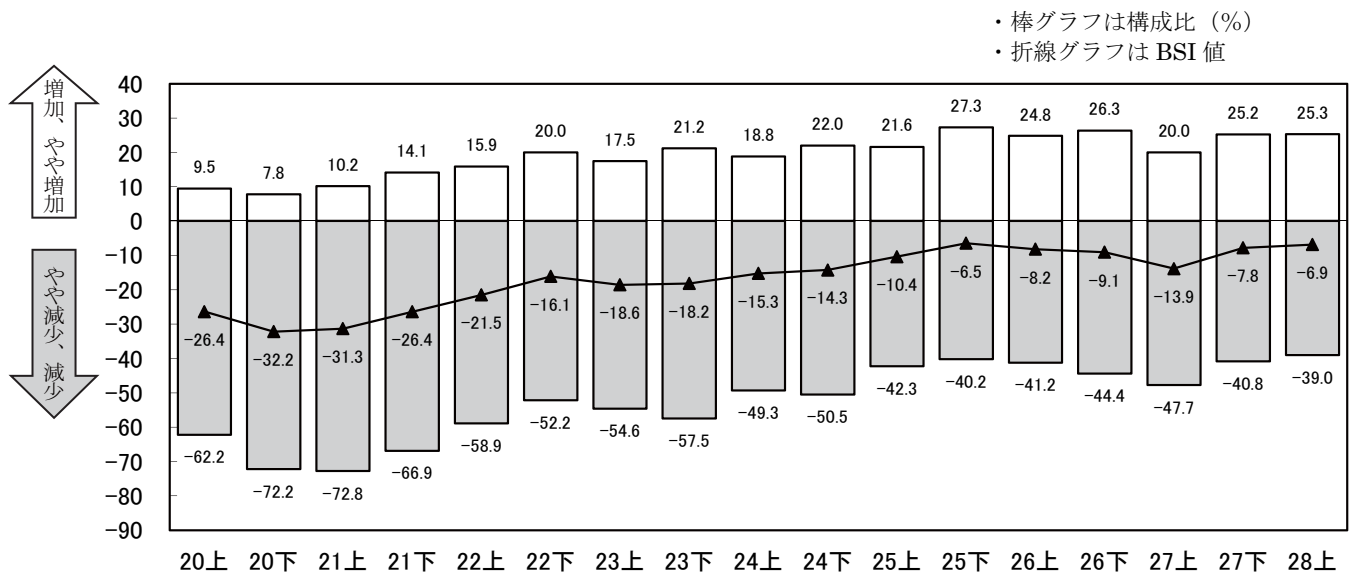
	実 績		
	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期
全産業	△ 27.7 △ 31.5	△ 15.6 △ 23.1	△ 13.7 △ 20.7
製造業	△ 13.6 △ 16.2	△ 12.6 △ 8.8	△ 12.1 △ 22.5
建設業	△ 30.7 △ 36.0	△ 18.8 △ 24.5	△ 19.7 △ 19.8
卸売業	△ 50.0 △ 66.6	△ 41.9 △ 72.7	△ 28.2 △ 50.1
小売業	△ 21.2 △ 20.0	△ 10.2 △ 25.0	2.6 △ 11.8
飲食業	△ 25.0 0.0	△ 12.5 △ 14.3	△ 28.6 0.0
サービス業	△ 26.0 △ 35.1	△ 13.4 △ 14.3	△ 5.3 △ 16.7

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－5 利益状況



4. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－４、図－６参照）

全産業の販売条件判断D I 値は△17.3 と前期△18.0 に比べ 0.7 ポイント改善となった。業種別で見ると卸売業・小売業で改善、製造業・建設業・サービス業では悪化の結果となった。小規模企業では特に製造業で△32.3 と前期△11.7 から 20.6 ポイントの大幅な悪化となった。

表－４ 販売条件

	実 績		
	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期
全 産 業	△ 20.2 △ 22.8	△ 18.0 △ 18.3	△ 17.3 △ 20.1
製 造 業	△ 12.2 △ 16.2	△ 17.9 △ 11.7	△ 20.7 △ 32.3
建 設 業	△ 17.4 △ 23.4	△ 12.5 △ 16.8	△ 18.6 △ 21.1
卸 売 業	△ 40.0 △ 44.4	△ 29.1 △ 36.4	△ 23.1 △ 28.5
小 売 業	△ 18.2 △ 10.0	△ 25.6 △ 25.0	△ 2.6 △ 5.9
飲 食 業	△ 50.0 △ 66.6	△ 50.0 △ 42.9	0.0 20.0
サービ業	△ 20.5 △ 24.3	△ 12.0 △ 3.6	△ 21.1 △ 19.5

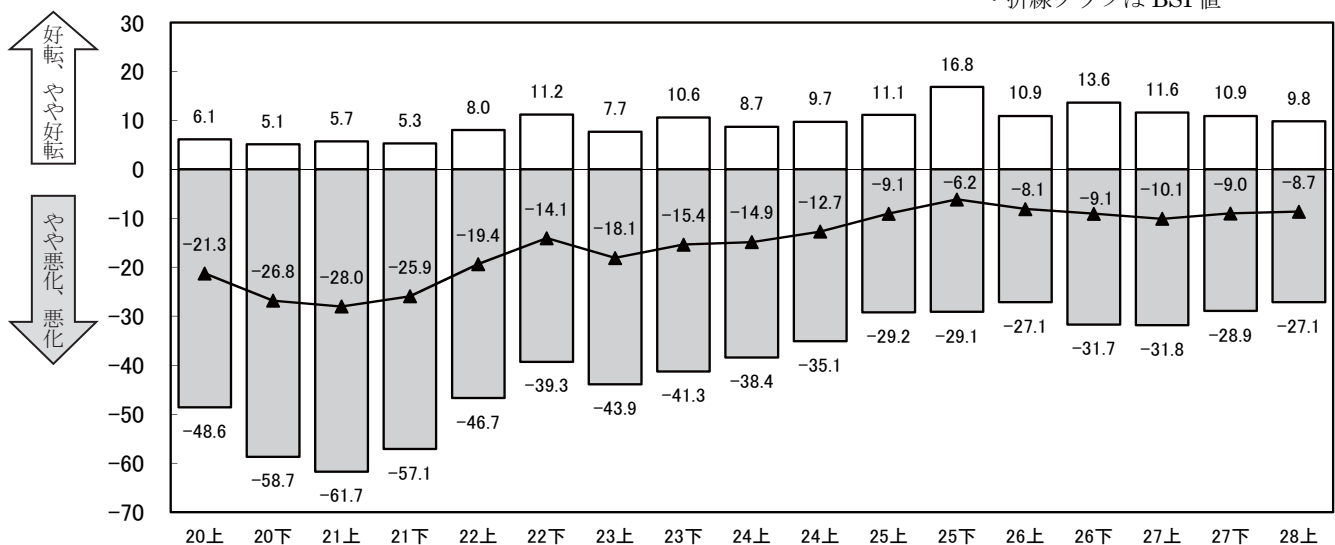
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段()内D I 値は小規模企業

図－６ 販売条件

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI 値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7 参照)

全産業の仕入条件判断DI値は△14.0 と前期△14.1 に比べ、ほぼ横ばいの結果となった。業種別で見ると製造業・卸売業・小売業で改善、建設業・サービス業で悪化の結果となった。小規模企業では製造業が△29.1 と前期△20.6 と8.5ポイントの悪化となっており、製造業全体とは逆の結果となった。

表-5 仕入条件

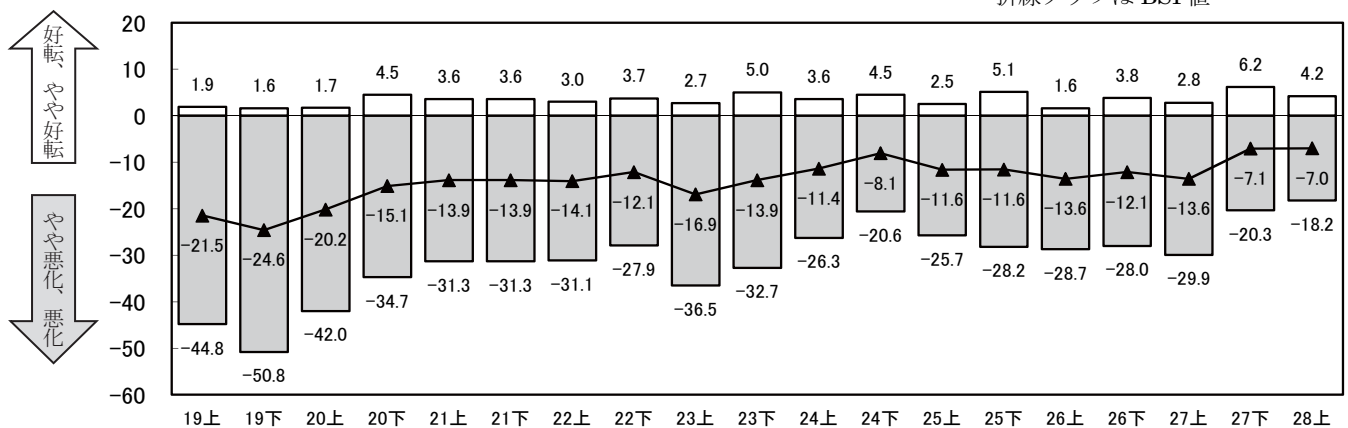
	実 績		
	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期
全 産 業	△ 27.1 △ 28.5	△ 14.1 △ 15.7	△ 14.0 △ 19.1
製 造 業	△ 30.4 △ 40.5	△ 19.6 △ 20.6	△ 15.5 △ 29.1
建 設 業	△ 25.3 △ 28.2	△ 17.6 △ 18.5	△ 19.8 △ 21.1
卸 売 業	△ 33.3 △ 44.4	△ 29.1 △ 18.2	△ 15.3 △ 7.1
小 売 業	△ 42.5 △ 45.0	△ 12.8 △ 10.0	2.7 0.0
飲 食 業	△ 25.0 0.0	△ 50.0 △ 57.2	△ 28.6 △ 20.0
サービ業	△ 21.9 △ 16.2	△ 11.9 △ 10.8	△ 15.8 △ 22.2

DI=好転 (高い) の割合-悪化 (低下) の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件



5. 設備投資（表－6参照）

(1) 今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、336企業中101企業30.1%と前期28.0%と比べ、割合が増加した。業種別では製造業が46.6%と前期39.3%よりさらに割合が増加した。小規模企業においても製造業29.0%と前期17.6%より割合が増加している。

(2) 来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は336企業中83企業24.7%と今期実績値30.1%に比べ減少の見通しとなっている。卸売業の横ばいの見通し以外ではすべての業種で減少の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

(単位：%)

	実 績			来期計画
	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期	28年7月～12月期
全 産 業	27.7	28.0	30.1	24.7
	20.2	15.7	17.6	14.0
製 造 業	45.5	39.3	46.6	41.4
	27.0	17.6	29.0	25.8
建 設 業	22.7	23.8	26.7	18.6
	17.2	18.5	18.3	15.5
卸 売 業	23.3	19.4	20.5	20.5
	0.0	9.1	7.1	7.1
小 売 業	24.2	33.3	31.6	23.7
	10.0	10.0	11.8	11.8
飲 食 業	25.0	0.0	42.9	42.9
	33.3	0.0	40.0	20.0
サービス業	21.9	25.4	21.1	11.8
	18.9	21.4	8.3	2.8

※下段の値は小規模企業

6. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

(1) 今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断D I値は△2.4と前期△8.7に比べ6.3ポイントと2期連続の改善となった。業種別では製造業・卸売業・小売業・サービス業で改善の結果となった。小規模企業では小売業・サービス業で改善となったものの、製造業・建設業・卸売業では数値が若干悪化した。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D I 値は△10.5と今期実績値△2.4に比べ、8.1ポイント悪化の見通しとなっている。業種別では建設業で△24.3と今期実績値△2.4と比較すると厳しい見通しとなっている。小規模企業では製造業・卸売業で改善の見通しとなっている。

表-7 資金繰り

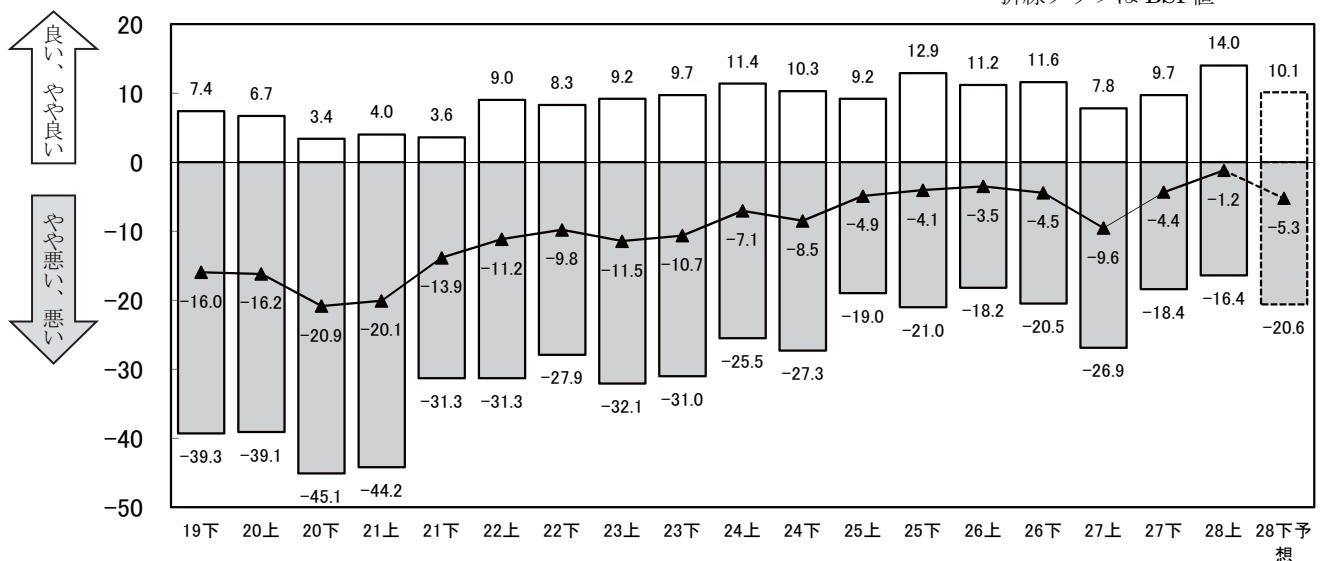
	実 績			来期見通し
	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期	28年7月～12月期
全 産 業	△ 14.1	△ 8.7	△ 2.4	△ 10.5
	△ 19.1	△ 13.7	△ 7.2	△ 13.5
製 造 業	△ 13.6	△ 7.2	△ 1.8	△ 3.5
	△ 16.2	△ 11.8	△ 12.9	△ 6.5
建 設 業	△ 13.3	△ 1.3	△ 2.4	△ 24.3
	△ 21.8	△ 4.6	△ 5.6	△ 26.8
卸 売 業	△ 16.7	△ 16.2	△ 7.7	△ 10.2
	△ 33.3	△ 27.3	△ 28.5	△ 14.3
小 売 業	△ 12.2	2.6	15.9	8.0
	△ 20.0	0.0	5.9	0.0
飲 食 業	△ 75.0	△ 25.0	△ 14.3	0.0
	△ 66.6	△ 28.6	0.0	20.0
サービス業	△ 10.9	△ 13.4	△ 7.9	△ 9.3
	△ 10.8	△ 17.9	△ 5.6	△ 8.3

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

図-8 資金繰りの現状と見通し



7. 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度判断DI値は19.7と前期22.7に比べ3.0ポイントの悪化となった。小規模企業では9.4と前期17.5より8.1ポイント悪化の数値となった。業種別では、建設業では6期連続で回復しており、サービス業でも回復が見られる。製造業・卸売業・小売業は悪化しており小規模企業では製造業が29.6ポイントの大幅な悪化となった。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期
全 産 業	12.2	22.7	19.7
	10.7	17.5	9.4
製 造 業	14.3	32.3	25.8
	25.0	42.1	12.5
建 設 業	17.5	18.2	23.7
	12.5	12.1	17.9
卸 売 業	31.5	41.2	12.5
	0.0	0.0	20.0
小 売 業	33.3	32.0	21.7
	33.3	11.1	△ 14.3
飲 食 業	△ 50.0	△ 25.0	33.3
	△ 100.0	△ 33.3	0.0
サービス業	△ 3.1	3.6	12.1
	0.0	16.7	△ 10.0

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

8. 借入予定と借入希望先（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は336企業中79企業で全体の23.5%、前期は24.0%と比較してほぼ横ばいとなっている。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は83.5%と前期71.4%、前年同期76.5%と増加している。公的金融機関は13.9%であり、前期22.1%、前年同期23.5%となっており減少している。

資金使途では運転資金は57.0%（前期62.3%、前年同期64.7%）、設備資金38.0%（前期35.1%、前年同期33.8%）となっており、今期では設備資金への需要増加が見て取れる。

図-9-① 借入予定

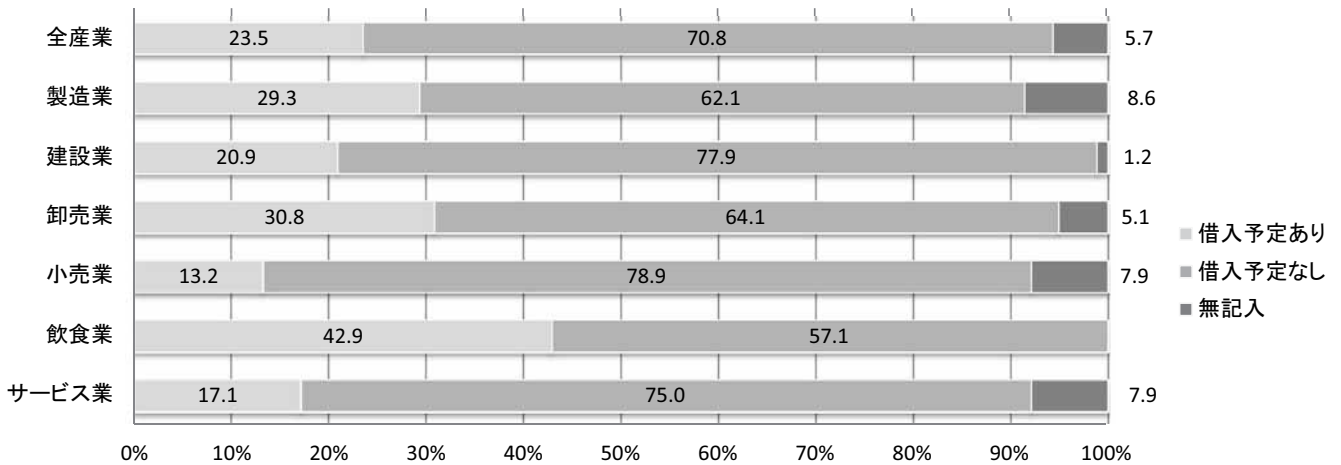


図-9-② 借入希望先

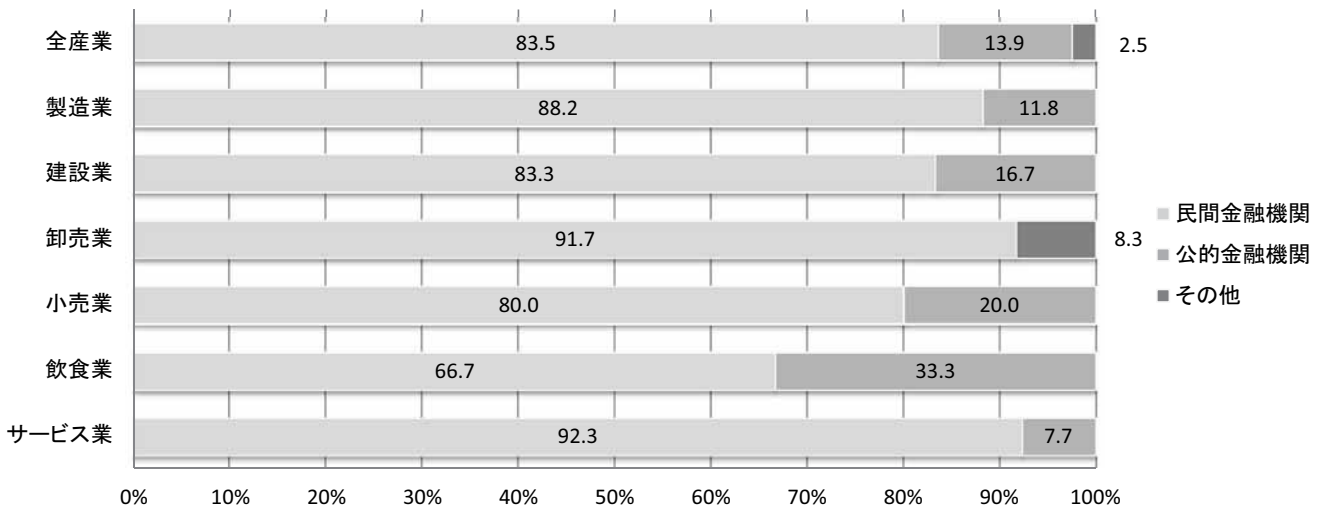
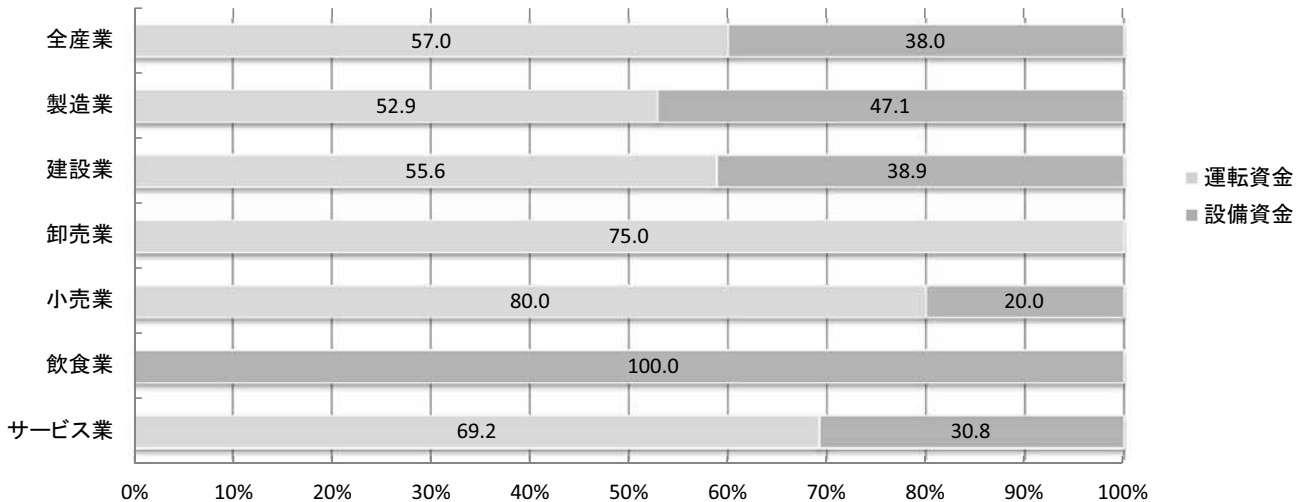


図-9-③ 借入資金の用途予定

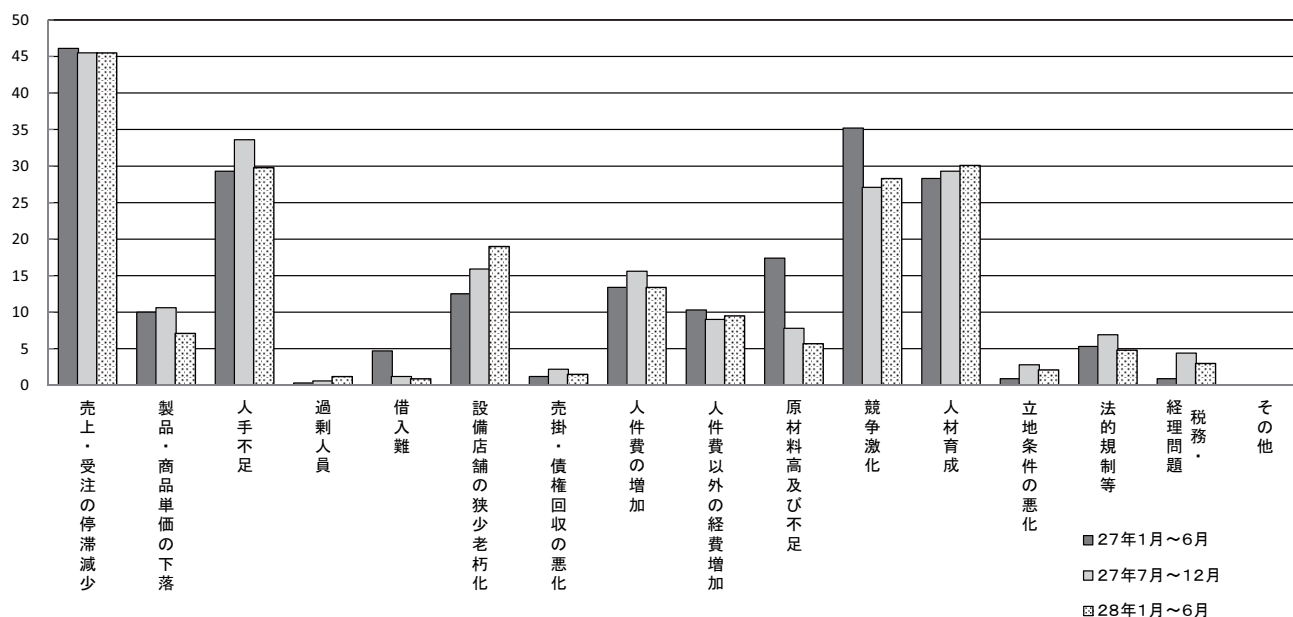


9. 経営上の問題点（3項目まで選択）（図-10、表-9参照）

全産業の経営上の問題点は1位は26期連続で「売上・受注の停滞・減少」となったが、2位は「人材育成」、3位は「人出不足」なり、前期2位と3位が入れ替わる結果となった。次いで「競争激化」、「設備店舗の狭小・老朽化」となっている。業種別で見ると製造業・サービス業で「競争激化」が順位を上げ、小売業では「小売業では設備店舗の狭小・老朽化」が順位を上げている。

図-10 全産業・経営上の問題点

(単位：%)



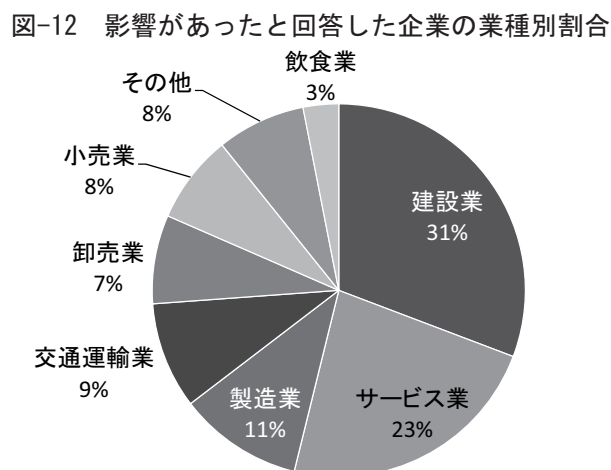
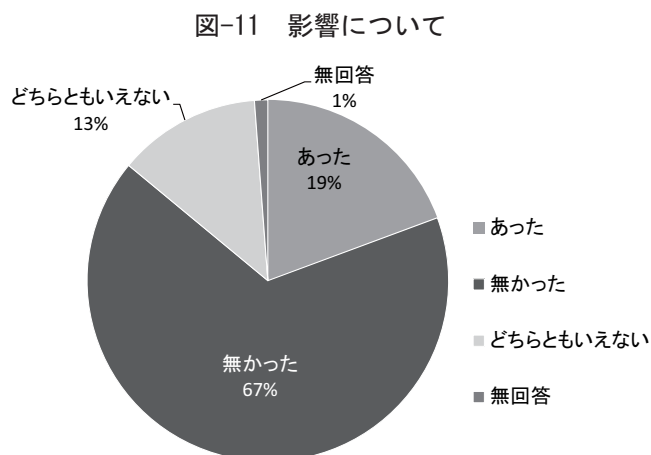
表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		27年7月～12月期			28年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 45.5	人手不足 33.6	人材育成 29.3	売上・受注の 停滞減少 45.5	人材育成 30.1	人手不足 29.8
	製造業	売上・受注の 停滞減少 44.6	人材育成 28.6	設備店舗の 狭小老朽化 26.8	売上・受注の 停滞減少 46.6	競争激化 32.8	・設備店舗の 狭小老朽化 ・人材育成 29.3
	建設業	売上・受注の 停滞減少 45.0	人手不足 45.0	人材育成 28.8	売上・受注の 停滞減少 48.8	人手不足 34.9	人材育成 31.4
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 54.8	競争激化 35.5	人材育成 29.0	売上・受注の 停滞減少 51.3	競争激化 35.9	人材育成 30.8
	小売業	売上・受注の 停滞減少 48.7	人手不足 38.5	競争激化 33.3	売上・受注の 停滞減少 50.0	人手不足 34.2	・設備店舗の 狭小老朽化 ・人材育成 23.7
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 62.5	設備店舗の 狭小老朽化 50.0	原材料高 及び不足 37.5	・売上・受注の 停滞減少 ・設備店舗の 狭小老朽化 57.1	・人手不足 ・原材料高 及び不足 ・競争激化 28.6	人件費の増加 14.3
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 41.8	人材育成 29.9	人手不足 29.9	売上・受注の 停滞減少 39.5	・競争激化 ・人材育成 31.6	人手不足 30.3

10. 津地区企業における伊勢志摩サミット開催に対する自社の業況への影響（付帯調査）

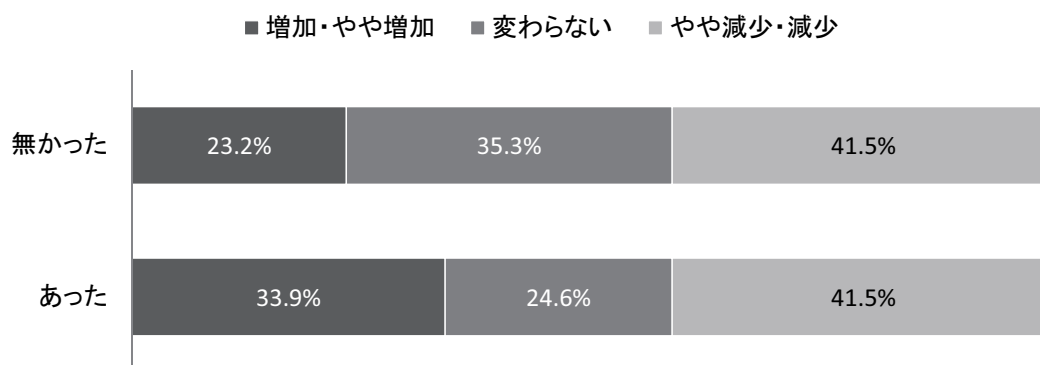
(1) 伊勢志摩サミット開催が自社の業況に対する影響の有無について（図-11 12）



伊勢志摩サミット開催の影響について、自社の業況に67%が「影響はなかった」という高い数値を回答している。また、伊勢志摩サミットは、自社の業況に「影響があった」と回答した19%の企業の内、特に割合が高かった業種は、建設業31%、サービス業23%であった。

(2) 影響の有無別の平成28年1～6月の売上と前年同期の比較について（図13）

図-13 伊勢志摩サミット開催が自社の業況に対する影響の有無別の売上の状況



平成28年1～6月の売上と前年同期の売上を伊勢志摩サミット開催の自社への業況の有無別に比較すると「影響があった」と回答した企業は「影響がなかった」と回答した企業と比較して「増加・やや増加した」が、10.7ポイント高い結果となった。

業種別でみると「影響があった」と回答した割合が高かった建設業、サービス業においても平成28年1～6月の売上と前年同期の売上を比較すると建設業では13.2ポイント、サービス業では、33.7ポイント高い結果となった。

また、平成28年1～6月の売上と前年同期の売上を比較し、「影響があった」と回答した企業と、「影響がなかった」と回答した企業が、「やや減少・減少」と回答した割合は共に41.5%で、同数値であった。

景況調査票

平成 28 年 7 月

会議所	No.	コード

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業 種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
	6. 化学製品	7. 土石業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈建設業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈卸売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈小売業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈飲食業〉	21. 飲食店				
〈サービス業〉	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0 ~ 5 人	2. 6 ~ 20 人	3. 21 ~ 50 人	4. 51 ~ 100 人	5. 101 人以上
------------	-------------	--------------	---------------	------------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成 28 年 1 ~ 6 月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. や や 良	い	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪	い	5. 悪	い
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---

理由:

4. 今後の見通しについて…平成 28 年 7 ~ 1 2 月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 良	い	2. や や 良	い	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪	い	5. 悪	い	6. わ っ け ら な い
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---	----------------

理由:

5. 売上状況について…平成 28 年 1 ~ 6 月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. や や 増	加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減	少	5. 減	少
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---

6. 売上の見通しについて…平成 28 年 7 ~ 1 2 月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 増	加	2. や や 増	加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減	少	5. 減	少	6. わ っ け ら な い
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---	----------------

7. 利益状況について…平成 28 年 1 ~ 6 月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. や や 増	加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減	少	5. 減	少
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成 28 年 1 ~ 6 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. や や 好	転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪	化	5. 悪	化
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成 28 年 1 ~ 6 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. や や 好	転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪	化	5. 悪	化	6. 仕 入 な し
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---	------------

10. 設備投資について

平成 28 年 1 ~ 6 月の実績		➔	平成 28 年 7 ~ 1 2 月の予定	
1. 行 っ た	2. 行 わ な い		1. 予 定 あ り	2. 予 定 な し

11. 資金繰りの現状について…平成 28 年 1 ~ 6 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. や や 好	転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪	化	5. 悪	化
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---

12. 資金繰りの見通しについて…平成 28 年 7 ~ 1 2 月は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 好	転	2. や や 好	転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪	化	5. 悪	化	6. わ っ け ら な い
------	---	----------	---	--------------	----------	---	------	---	----------------

13. 借入の現状について…平成 28 年 1 ~ 6 月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

14. 借入予定はありますか…(平成 28 年 7 ~ 1 2 月)

1. 予 定 し て い る	2. 予 定 し て い な い
----------------	------------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民 間 金 融 機 関	2. 公 的 金 融 機 関	3. そ の 他
----------------	----------------	----------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運 転 資 金	2. 設 備 資 金
------------	------------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売 上 ・ 受 注 の 停 滞 減 少	6. 設 備 ・ 店 舗 の 狭 小 老 朽 化	11. 競 争 激 化
2. 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	7. 売 掛 ・ 債 権 回 収 の 悪 化	12. 人 材 育 成
3. 人 手 不 足	8. 人 件 費 の 増 加	13. 立 地 条 件 の 悪 化
4. 過 剰 人 員	9. 人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	14. 法 的 規 制 等 (纏 和 を 含 む)
5. 借 入 難	10. 原 材 料 高 及 び 不 足	15. 税 務 ・ 経 理 問 題

16. 伊勢志摩サミットについて… 業況に影響はありましたか。

1. あ っ た	2. な っ け っ た	3. ど ち ら と も い え な い
----------	--------------	----------------------

17. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。

津地区の景況調査 No.68

平成28年9月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665